

ぶんかざいまるちなび

No.56

# 文化財 知 ナビ

このニュースレターは、「文化財に親しむ機会の提供に関する事業」の一つとして、身近な文化財情報をはじめ、文化財を活用した事業などの紹介を行っています。  
ぜひ学校教育や生涯学習の場で広くご活用ください。

## 文化財を<sup>まも</sup>っていていこう！

文化財とは長い歴史の中で生まれ、<sup>はぐく</sup>育まれ、<sup>こんにち</sup>今日まで<sup>つた</sup>守り伝えられてきた<sup>きちょう</sup>貴重な国民的財産です。

しかしそのような歴史のある<sup>たてもの</sup>建物、<sup>びじゅつこうげいひんとう</sup>自然、<sup>のこ</sup>美術工芸品等は、長い間残ってきたことから、<sup>そんざい</sup>存在して当たり前と<sup>おぼ</sup>えてしまうかもしれません。

昭和24年1月26日に、<sup>げんそん</sup>現存する<sup>せかいさいこ</sup>世界最古の<sup>もくぞうけんぞうぶつ</sup>木造建造物である<sup>ほうりゆうじ</sup>法隆寺の<sup>こんどう</sup>金堂が<sup>しょうそん</sup>焼損したことがありました。その出来事から、国は毎年1月26日を「文化財防火デー」に<sup>さだ</sup>定め、<sup>かさい</sup>文化財を<sup>しんざい</sup>火災、<sup>さいがい</sup>震災その他の災害から<sup>ぜんこくかくち</sup>守るとともに、全国各地で<sup>ぼうさい</sup>文化財防災運動を<sup>おこな</sup>行い、<sup>あいご</sup>文化財<sup>かんしん</sup>愛護への<sup>たか</sup>関心を高めるようにしています。



### 《文化財の<sup>さまざま</sup>様々な守り方》

文化財の守り方には、いろいろなものがあります。

建物等では、<sup>じしん</sup>地震等による<sup>ゆ</sup>揺れに<sup>た</sup>耐え<sup>とうかい</sup>倒壊を防ぐための<sup>ふせ</sup>耐震工事や、<sup>たいしんこうじ</sup>火事等で<sup>ひがい</sup>被害を受け<sup>しょうか</sup>ないよう、<sup>せん</sup>消火栓等の<sup>せつび</sup>防火設備を設置する工事などがあります。

美術工芸品等では、<sup>けいねんれっか</sup>経年劣化による<sup>はそん</sup>破損の<sup>ほそんしゅうふく</sup>保存修復等を行っています。

また、<sup>にちじょう</sup>災害が<sup>いしき</sup>起こることを<sup>ひなん</sup>日常から<sup>くねん</sup>意識して、<sup>かんけいしゃ</sup>避難計画を立て<sup>かんけいしゃ</sup>避難訓練を行う等して、日々、文化財関係者は文化財を守っています。

第68回文化財防火デーポスター

# 保存修復・防災訓練の例

《保存修復をしています》

開拓使等の近代行政文書である重要文化財「開拓使文書」7,832点について、破損状況を調べ、壊れ具合によって、本冊子の綴りを解く、シワ等をコテで伸ばす、虫食い等の部分を補修する、元の通りの冊子に仕上げ直す、などの修理作業を毎年計画的に行っています。

そのようにして、重要な歴史資料が後世に残るように守っています。

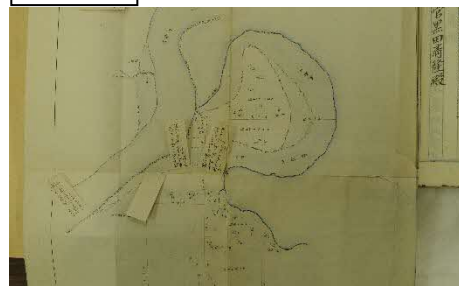


開拓使文書（一部）



確認作業中

修正前



修正後



↑シワ等を伸ばし、きれいな状態に直しています。（修復の一例）

《防災訓練も大切です》

上ノ国町にある、重要文化財「上國寺本堂」（右建物）では、文化財防火デーにあわせて、防災訓練を行っています。

昨年（2023年）の1月26日に行われた防災訓練では、新型コロナウイルス感染症に留意の上、消防職員監修の下、初期消火、避難誘導訓練、重要物品の把握及び避難訓練を実施しました。

文化財に関わるみんなが協力して、いざという時に備えています。



訓練総括



煙の中での避難誘導訓練

文化財ニュースレター 文化財まる知ナビ No.56

発行 令和4年1月21日 編集・連絡先 北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

【お問い合わせはこちらへ】 電話 011-231-4111（内線）35-618 メール kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp